

第14回独立行政法人契約監視委員会

令和3年7月
独立行政法人経済産業研究所

1. 日時

令和3年5月21日(金)

2. 審議形式

オンラインビデオ会議による審議
(新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を踏まえオンラインによる
ビデオ会議形式にて実施)

3. 出席者

(1) 委員

白山委員長、向委員、橋本監事、鈴木監事

(2) 独立行政法人経済産業研究所

矢野理事長、安藤理事、菅家総務ディレクター、
平尾総務副ディレクター、齋木総務専門職

4. 審議内容

経済産業研究所の契約状況について

・令和2年度の契約内容及び契約方式の状況

5. 概要

(1) 開催挨拶

冒頭、矢野理事長から開催挨拶が行われた。

(2) 経済産業研究所の契約状況について、事務局から説明後、質疑が行われた(主な質疑については別紙参照)。なお、個別の契約に対する指摘はなかった。

(別紙)

質問・意見	回答
■競争性のない随意契約理由及び契約価格の妥当性	
<p>< 広報(広報誌、WEB)等 ></p> <p>①平成 28-32 年度 経済産業研究所ホームページ CMS サーバのデータセンターの利用等に係る調達業務請負変更契約:株式会社オービス総研</p> <p>②「2020-2021 年度経済産業研究所 CMS 運用・保守業務」に係る請負契約:株式会社ジー・サーチ</p>	
<p>① 半年延期になった同データセンター利用に係る次期契約手続の進捗について、ご説明願いたい。</p> <p>② 既存契約と延長契約後の月額単価に係る費用比較について、ご説明願いたい。</p>	<p>① 本件 CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)サーバが置かれるデータセンターについては、基幹システムとなる次期PC-LANシステムで運用するデータセンター内に統合されるため、移行までの本件延長契約で終了となる。なお、次期PC-LANシステムの調達については、現状スケジュール通りであり、遅延はない見込みである。</p> <p>② 手元に詳細資料の用意がないため、別途、資料送付・説明させていただく。 (※委員会終了後、費用単価の比較資料を各委員に送付・説明し、了解を得た。)</p>
<p>< 委託調査 ></p> <p>2020年度「経済の構造変化と生活・消費に関するインターネット調査(フォローアップ調査)」に係る役務請負:楽天インサイト株式会社</p>	
<p>・ 資料に前回調査の契約額と今回調査の契約額の記載があり、1問1人当たりの費用単価の比較の記載もあるが、こちらの比較について、ご説明願いたい。</p>	<p>・ 1問1人当たりの費用単価の比較については、今回の調査と前回の調査時点の比較をしたものではなく、直近のフォローアップ調査を行った際の費用を比較したものである。回収サンプル数と設問数から算出した単価は低廉で妥当と考えている。</p>
<p>< 他機関との共同研究 ></p> <p>新型コロナウイルス流行の実態解明に向けた医学-社会科学融合型研究 :国立大学法人京都大学</p>	
<p>・ 京都大学との医学-社会科学融合型研究に係る共同研究契約は、京都大学経済研究所との間の学術協力・交流に関する基本</p>	<p>・ 本件共同研究は、京都大学との学術協力及び交流に関する協定に基づくものではなく、別の共同研究契約に基づくものであり、契約</p>

<p>協定に基づく契約なのか、また、当該共同研究契約に係る契約期間について、ご説明願いたい。</p>	<p>期間は本年1月6日から本年12月31日までとなっている。なお、研究を拡大継続する可能性もあり、その場合には契約期間の延長や内容的な拡充を行うこともありうる。</p>
<p><データベース購入・利用> 企業概要ファイルCOSMOS2の利用に係る契約:株式会社帝国データバンク</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 随意契約の理由としては、帝国データバンクの当該データを利用した研究が第5期中期計画期間でも継続されていて、この帝国データバンクのデータを使わざるを得ない、他社のデータを使って研究することはできないとの理解でよろしいか、ご説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長年継続する複数の研究プロジェクトにおいて、同一対象をフォローするパネルデータによる継続的分析に必要となる同一の標本データの提供が可能となるのは、事実上帝国データバンクのみであり、このため、同社を選定せざるを得ない。
<p>■一者応札・応募となったものの状況 <委託調査> ①RIETI-TID2019・2020の作成に関する業務請負契約:株式会社価値総合研究所 ②2020年度「新型コロナショック下における企業実態調査」に係る委託契約:株式会社東京商工リサーチ ③2020年度「グローバル化と新型コロナ・ウイルス対応の対面接触削減に関する調査」に係る委託契約:株式会社東京商工リサーチ</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札説明会に参加したが不参加となった業者から聴取した理由をご説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①説明会参加は落札業者1社のみ。本件の業務内容の一部に専門性を求める仕様が含まれること、過去の契約額を公表していることから、複数回の契約実績がある落札業者と競合しても、コスト面及び落札額との費用対効果を考慮し、参加を回避したものと推測している。 ②入札説明会参加は6社。参加業者への不参加理由聴取の結果、新型コロナ感染症の流行に伴う、勤務形態の変更による影響が生じ、リソースの確保が困難であったとの説明があった。そのため、応札し落札した業者のみが仕様を満たせるものと判断し、結果として1社応札になったものではないかと推測している。

	<p>③入札説明会参加は4社。参加業者への不参加理由聴取の結果、個人情報管理の観点から提出をお願いしている情報取扱者の名簿の情報のうち、担当者居住の住所の提出は社の内規から提出が困難との理由で不参加となった旨回答があった。この情報取扱者名簿については、所管官庁の指示に基づき追加した資料で、本資料が不参加の要因となる可能性があることから、今後は、入札段階ではなく、落札決定者のみに提出を依頼することを検討したい。</p>
<p><広報(広報誌、WEB)関係> 2020年度RIETI広報誌「RIETI Highlight」のデザイン・印刷業務請負に係る業務請負契約：株式会社アークコミュニケーションズ</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 入札説明会に参加したが不参加となった業者から聴取した理由をご説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札説明会参加は6社。参加業者への不参加理由聴取の結果、①仕様書の規模に対応できる能力がない、②他の請負の仕事とスケジュール調整がつかない、などの回答を得た。また、過去の契約実績を公表していることから、複数回の契約実績がある落札業者との競合について、コスト面及び落札額との費用対効果を考慮し、参加を回避したものと推測している。
<p><データベース購入・利用> 2021年「電子ジャーナル」の調達業務に係る役務請負：株式会社紀伊国屋書店</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 入札説明会に参加したが不参加となった業者から聴取した理由をご説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 提供可能な2社に声がけしたところ、不参加となった社の担当者からは、「働き方改革による業務見直しのため、参考見積の提出も辞退したい」との回答があった。同社は過去に複数回入札に参加したが、落札に至らなかったため、落札業者と価格的に競争しても落札可能性が極めて低いと判断し、結果として落札者1者のみの参加となったものと推測している。

■その他

<説明資料について>

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">• RIETIの方針としては、やはり随意契約、1者応札は減らしていくという方針か。それともやっぱりそれは契約によるという方針か。• 質問ではないが、競争性のない随意契約については、研究遂行のため、又は組織運営のため自ずと随意契約にならざるを得ないものと、諸般の事情で随意契約の締結をせざるを得なくなったものとの分けるなど、随意契約に至った内容に応じた分類・整理も今後は必要ではないか。• 随意契約の適否を検討する時には、まず事実関係の把握があり、核心となる随意契約とした理由があり、さらに、価格交渉をしたのかや、対前年度との比較、価格面での努力などを説明することで判断がつくので、表題や形式などまとめ方を工夫すればわかりやすくなるのではないか。• 当契約監視委員会は、RIETI事務担当者が、細かく丁寧に検討し、良い資料も作成され、丁寧な説明をいただいているとの認識を各委員も強く持っている。よりよくしていただきたいという観点で指摘した。 | <ul style="list-style-type: none">• 競争性のあるものに関しては、極力競争を導入し、1者応札にならないように、できるだけ説明を丁寧にして、参加者が増えるようにしていくことを私どもの基本ポリシーとしている。• 説明資料については、ご指摘を踏まえて、分類・整理の工夫、一層簡潔で明確でご理解頂きやすい内容となるよう改善に努めたい。• 随意契約に関しては、新しいもの、継続のもの、また、ロジックとして事実関係、それから随意契約にならざるを得なかった理由、そして価格交渉等の努力や経緯について、流れがわかりやすくなるよう工夫したい。• 各委員からの貴重なご意見、ご指摘を踏まえて、今後の調達や入札業務について、所内で検討を重ね、より適切な契約実施に努力してまいりたい。 |
|--|--|